

長崎県・佐世保市の IR 担当者による説明会の報告

IR の誘致を検討している長崎県企画振興部 IR 推進課と佐世保市の長崎県・佐世保市 IR 推進協議会の担当者による IR に関する説明会が開催されましたので、その内容について報告する。

日時 平成 31 年 4 月 4 日(木) 午後 3 時～4 時

場所 管理センター会議室

参加者 品川、Larry、金又、築山それぞれ夫妻、黒坪、川上、技術センター縄本

長崎県企画振興部 IR 推進課課長、主任主事の 2 名

佐世保市長崎県・佐世保市 IR 推進協議会シニアゼネラルマネージャー 1 名

内容については、資料に沿って県の担当課長から、IR 誘致は長崎県の人口減少対策と外国人の定住者を増やすことが目的であるとの説明であった。その後、佐世保市の担当者から補足説明の後、質疑となった。

(質問) 長崎市はマイルス(大会等の開催施設)を建設することになっているが、それとの整合性については

(回答) IR のマイルスは 6,000 人くらいで規模が大きく日本でも最大級の施設になる。それに比べると長崎市はかなり小さいので競合するのではなく、役割分担ができるのではないかと考えている。

(質問) 新幹線をはじめとする交通アクセスが悪いのはどうするのか

(回答) 交通アクセスの不備については、市も県も十分認識している。空港からの海上輸送や武雄、大村からの鉄道網の整備を含めて考えている。

(質問) 外国やクルーズ船のカジノの現状は、どれもが賑わっている訳ではなく、欧州や韓国では閑散としているところもある。タクシー代やホテルの料金を安くして顧客を確保しているところもあり、簡単には採算ペースに乗らないのでは

(回答) 国内だけではなく海外、特に東南アジアの施設と競合するため、カジノだけで採算ペースに乗るとは考えておらず、脱カジノによるそれ以外の部分での魅力のある施設として集客を図ることを検討している。

(質問) 申請は市と県、運営は民設、民営ということであるが、参加する企業はあるのか

(回答) 参加企業に関しては公募を行い、国内だけでなく広く海外からの出資を期待している。HTBとは隣接する施設となっても、全く別の組織と考えており、入場に関してもそれぞれの入場料を支払うことになる。

IRは規模が大きいため、単独の企業による経営は考えにくく、ホテル、マイル、カジノ等それぞれの専門性のある企業の合弁企業のような形態になるのではないか。

(質問) HTBの例えばロッテルダムに設置された場合、現在ワッセナー住民が使用している道路が非常に混雑することが考えられるので、IRに直結するような道路整備はできるのか

(回答) その点についてもどういう道路を含めた対策が必要なのか今後検討して行きたい。

以上が概要である。

今後、県市とも本格的な検討に入るそうで、ある程度内容が決まってきたら、ワッセナーを含めた近隣地域での説明会を今後とも実施していきたいということであった。